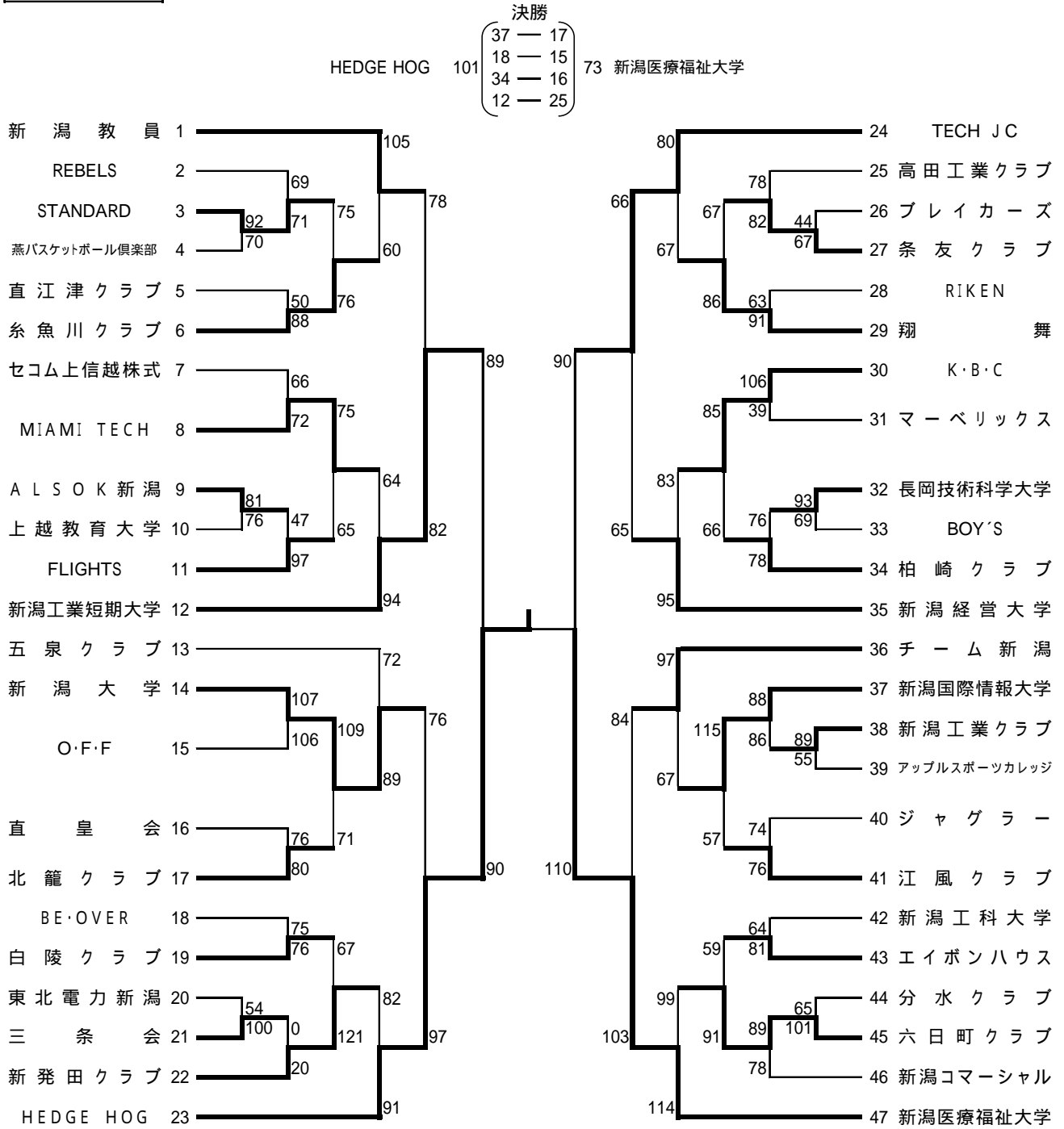
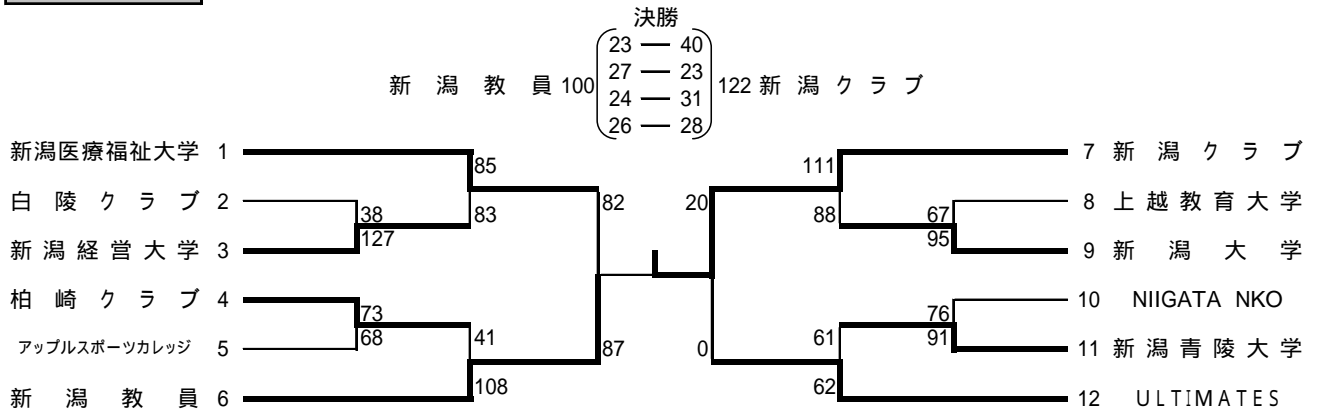


第52回新潟日報杯争奪バスケットボール大会

男子の部



女子の部



第52回 新潟日報杯争奪 バasketボール大会
男子決勝戦結果

HEDGE HOG 101 $\begin{pmatrix} 37 & - & 17 \\ 18 & - & 15 \\ 34 & - & 16 \\ 12 & - & 25 \end{pmatrix}$ 73 新潟医療福祉大学

テーブルスコア

A HEDGE HOG						B 新潟医療福祉大学							
No	選手名	得点	野投(本)		自由投(本)	反則	No	選手名	得点	野投(本)		自由投(本)	反則
			3点	2点						3点	2点		
4	西川	0	0	0	0	0	4	田中	6	0	3	0	0
5	大橋	1	0	0	1	5	5	篠塚	0	0	0	0	1
6	須貝							武者	3	1	0	0	1
7	斎藤(行)						7	村山	3	1	0	0	2
	安藤	3	1	0	0	0	8	石川	6	0	3	0	1
	大矢	8	0	3	2	3		高橋	11	1	3	2	3
	阿部	18	0	8	2	2	10	五十嵐					
11	斎藤(康)						11	関口	6	0	3	0	0
12	関根	0	0	0	0	3		高橋	10	1	3	1	5
	高木	39	5	10	4	3		佐藤	14	0	6	2	3
14	森田	6	0	3	0	1		堺	8	2	1	0	1
15	衣川	2	0	1	0	0	15	加藤					
16	島	2	0	1	0	1	16	八ツ橋	3	1	0	0	0
17	小山						17	伊藤	1	0	0	1	1
	安田	22	4	4	2	0	18	森	2	0	1	0	2
合計		101	10	30	11	18	合計		73	7	23	6	20

戦評

決勝は準決勝において1点差で新潟工業短大を下したHEDGE HOGと危なげなく勝ち進んできた新潟医療福祉大学との戦いになった。

1Q、HEDGE HOGがオールコートマンツーマンに対し、医療福祉大はハーフコートマンツーマンの立ち上がり、医療福祉大はHEDGE HOGのディフェンスに苦しめられ、無理な姿勢でのシュートが多くなかなか得点に繋がらない。一方、HEDGE HOGは阿部のレイアップシュートをはじめ、安田の連続3P、ガード高木の3Pが確実に決まり最終的には37-17の一方的な1Qとなった。

2Q、なんとか追いつきたい医療福祉大であるが、1Qの流れのままシュートまでは行くもののはじかれ得点できない。対するHEDGE HOGは大矢がファールカウントを決めると高木も3Pを決めるなどいいリズムは崩れない。残り3分7秒医療福祉大はたまたまタイムアウトを取りオールコートプレス仕掛け、得点を抑えるが結局2Qさらに3点ひろがり、55-32で前半を終える。

3Q、開始早々HEDGE HOG高木の連続3Pが決まる。医療福祉大は高橋(航)がファールカウントするもののディフェンスに苦しめられ中盤の3分間無得点となってしまう。流れを変えたく2回タイムアウトを取るものの、HEDGE HOGの勢いは止まらない。高木は3Qだけで14得点の活躍、89-48と41点差となる。

4Q、医療福祉大はオールコートプレス、HEDGE HOGは変わらずオールコートディフェンスで開始、オフェンスであせる必要の無いHEDGE HOGは時間を使い攻めるのに対し、医療福祉大は激しいディフェンスから得点を重ね、出来るだけ点差をつめようと攻め続けた。点差は縮まったものの終わってみれば101-73と、HEDGE HOGが大差で新潟日報杯初優勝を飾った。

**第52回 新潟日報杯争奪 バasketボール大会
女子 決勝戦 結果**

新潟教員 100

23	-	40
27	-	23
24	-	31
26	-	28

 122 新潟クラブ

テーブルスコア

A 新潟教員						B 新潟クラブ							
No	選手名	得点	野投(本)		自由投(本)	反則	No	選手名	得点	野投(本)		自由投(本)	反則
			3点	2点						3点	2点		
	西 潟	11	0	5	1	4	4	林(裕)					
5	藤 田						5	村 田	6	2	0	0	3
	五十嵐	18	0	6	6	4	6	古 沢					
7	笠 井	5	0	2	1	5		阿 倍	10	0	5	0	3
8	樋 浦							田 辺	33	1	12	6	3
9	氏 田							丸 山	18	0	8	2	2
	石 田	22	0	9	4	0	10	山 崎	2	0	1	0	3
11	相 場							林(実)	30	0	14	2	4
12							12	小 林					
13								坂 上	21	3	5	2	1
	齊 藤	24	0	10	4	3	14	若 松	2	0	1	0	0
15	野 村	2	0	1	0	4	15	小野塚					
16	渋谷	8	1	2	1	1	16	根 津					
	市 川	10	0	4	2	3	17	齊 藤					
18	本 田						18	平 沢					
合 計		100	1	39	19	24	合 計		122	6	46	12	19

戦 評

今年の女子決勝は、準決勝で第1シードの新潟医療福祉大学を破った新潟教員と、2年ぶりの優勝を狙う新潟クラブとの対戦となった。

両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。序盤、新潟クラブ#13坂上のスティールに始まり、速いパス回しからゴール下へのカットイン、#11林(実)、#8田辺のシュートも決まり、徐々に新潟教員を引き離す。一方、新潟教員は#4西潟、#6五十嵐の1対1で応戦するも単発。1Q40 - 23と新潟クラブペースで終わる。

2Q、新潟教員はディフェンスで積極的に仕掛け相手のミスを誘い、#6五十嵐のミドルシュートも決まるが、新潟クラブも要所を締め、なかなか点差が縮まらない。終盤、新潟教員が#4西潟から#10石田のインサイドでの加点、#14齊藤の連続得点を決め、63 - 50と新潟クラブとの点差を縮めて終わる。

3Q、新潟教員が反撃、点差が縮まり始める。ディフェンスで相手にプレッシャーをかけてミスを誘い、#14齊藤のミドルシュート、#10石田のリング下のシュートで加点。5分で10点差まで追い上げる。しかし、新潟クラブは#13坂上の3点シュート、#11林(実)の連続得点で再び点差を広げる。結局94 - 74で新潟クラブがリードを広げて終わる。

最終4Q開始早々、新潟教員が相手の4連続ターンオーバーを誘い一気に8点縮める。タイムアウト後さらに#14齊藤のスティールで再び10点差。しかし、新潟クラブは#9丸山がシュートを決め、点差をこれ以上詰めさせない。最後は、新潟教員のディフェンスに疲れが見え始め、新潟クラブが速攻で引き離す。結局122 - 100で、新潟クラブが2年ぶりの優勝を決めた。